



陵雲だより

学び合う子供の育成～道徳性を養いながら～

旭川市立陵雲小学校



節目～折り返し

校長 佐藤 聖士

<学芸会>

「仲間を信じて団結！ やりきる心 最後まで ～夢と希望と感動を～」のテーマのもと、26日（日）学芸会が開催されました。肌寒い朝でしたが、天候に恵まれ、多くの保護者・地域の皆様に御観覧いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

仲間と思いを通わせ、様々に話し合い、練習を重ねて演目を作り上げてきました。時には思いが交錯し、うまくいかないと感じることもあったはず。22日（水）の児童公開日からも、一般公開までの2日間で成果と課題をまとめ、さらに工夫・改善して、皆様に輝くステージをお届けすることができました。これまでの各学年の取組への御理解と御支援に心より感謝申し上げます。

学芸会等の文化的行事は日本独自のものと言われ【平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること】と定められています。まさに、この目標を具現化する心に届く発表でした。苦手なことにも頑張って取り組み、得意なことを伸ばした学芸会。大きな節目を終え、2学期の後半へと教育活動を進めてまいります。

<広陵中学校区 学校運営協議会拡大会議>

16日（木）18時から、広陵中学校で「広陵中学校区学校運営協議会拡大会議」が開催されました。広陵中、末広北小、本校の学校運営協議会委員が年に1度会同し、各校会議の交流を行いました。その際、昨今報じられている「ヒグマの出没」に係る対応についてのお尋ねがあり、現状を交流させていただきました。各学校では本年8月、北海道教育委員会より、危機管理マニュアルへの追録として「ヒグマ出没」に係る対応策について整備するよう通知を受け、準備をしてきたところです。

末広地区は、市内にあって比較的目撃情報が少ないエリアです。いっぽう、数年前には石狩川上流部より河畔を下り、常盤公園付近に出没した個体が目撃されています。翌日には、花咲大橋から遡上した模様で、その年はドングリやクルミ等が不作で、里へ下りる個体が多いことが報じられていました。このような場合、目撃情報の近隣校では、下校時に保護者にお迎えをお願いし、子どもたちを校舎から出さないことを対応の原則としていました。今後、本校でも、そのような想定も考えられることから、状況に応じて保護者お迎えの下校訓練等、開催の必要性を検討しています。

学校運営協議会の拡大会議は、今後の地域学校協働活動の中核をなす組織であり、末広地域の持続可能で安全・安心なまちづくりへの寄与に向け、今後も熟議を進めさせていただきます。

日本の学校教育は、10年に一度、教育活動の根本となる学習指導要領を改訂します。現行の要領は折り返しを迎え、現在は3年後の改訂に向けて、中央で審議が進められています。次の時代を担い、拓いていく子どもたちに、今、どんな力を身に付け、どんな心を涵養することが求められているのか。そのためにすべきことを考え、教育計画を立案しています。学校の現状にも御高配賜り、今後の連携・協働の在り方について、一層の御理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

テーマ「仲間を信じて団結! やりきる心 最後まで ～夢と希望と感動を～」

劇【大きなかぶ】



【1年生】

音楽劇【スイミー】



【2年生】

劇【100万回生きたねこ】



【3年生】

学芸会 生き生きとした子供たちの姿

4年総合劇【踊って!つないで!日本の旅】



【4年生】

ミュージカル【CATS】



【5年生】

劇【エルコスの祈り】



【6年生】

雪の季節を迎えて ～安全な登下校のために～

いよいよ本格的な冬が近づき、朝晩には雪がちらつく日も出てまいりました。路面の凍結や積雪により、滑りやすくなる季節です。児童が安心して登下校できるよう、学校でも安全指導を行ってまいりますが、御家庭でも次の点について声かけをお願いいたします。

- ・歩道の氷や雪に注意して、ゆっくり歩くこと
- ・車の通行が多い場所では特に周囲をよく見ること
- ・手袋を着用し、ポケットに手を入れたまま歩かないこと
- ・道路や住宅地で、雪玉を作って投げないこと
- ・地域住宅の庭先や軒下等に入らないこと

また、日暮れの時間が日に日に早まっています。視界が悪くなり、交通事故の危険性も高まります。下校後はなるべく明るいうちに帰宅できるよう、声かけをお願いします。

【冬期間の帰宅時刻】

11月 午後4時30分

12月・1月 午後4時

2月 午後4時30分

